

2019年5月8日

ゴールデンウィークの旅客実績概観

国内航空各社が発表した2019年GW(4/26~5/6)の旅客実績を概観した。

(注)各社数値をまとめた日刊航空の記事をもとにしています。(前年数値は変化率から逆算)

なお AirAsia-Japan はこれに含まれていない。

1. 概観

- ① 期間中の旅客数は国内線が極めて好調で、前年同期比 50 万人増(+14%)で搭乗率も大幅にUP。特にこれまで比較的到低い搭乗率だった大手2社や中堅会社が増加したことで全社平均で88%に達した。
- ② 国際線も供給増に需要が伴い(+4%)、84%という前年並みの高い搭乗率を維持した。
- ③ LCCの国内線旅客シェアは10%を前に、足踏み状態が続いている。
- ④ JAL・ANAを比較すると、対前年の旅客人数増は国内/国際ともにANAが上回ったが、増率ではJALが上回ってシェアを若干回復させた。

	座席数		旅客数				搭乗率			旅客シェア	
	当年	率	前年	当年	差	率	前年	当年	差	当年	差
(国内線)	千席	%	千人	千人	千人	%	%	%	ポイント	%	ポイント
ANA	2,030	100	1,534	1,732	198	113	76	85	10	43.3	-0.5
JAL	1,494	102	1,144	1,331	188	116	78	89	11	33.2	0.7
SKY	293	110	230	258	28	112	87	88	1	6.4	-0.1
ADO	96	106	77	91	14	118	85	94	9	2.3	0.1
SNA	86	104	66	78	12	118	80	90	10	1.9	0.1
SFJ	63	95	54	58	5	108	80	92	11	1.5	-0.1
中堅3社	246	102	197	227	30	115	82	92	10	5.7	0.0
Peach	126	102	114	119	5	105	92	94	3	3.0	-0.3
Jetstar-J	218	111	170	201	31	118	86	92	6	5.0	0.2
Vanilla	55	88	54	45	-9	84	87	83	-4	1.1	-0.4
Spring	25	296	8	21	14	284	91	87	-4	0.5	0.3
LCC4社	424	108	345	387	41	112	88	91	3	9.7	-0.2
FDA	68	105	51	62	11	121	79	91	12	1.5	0.1
IBEX	9	100	8	8	0	101	84	85	1	0.2	-0.0
リージョナル	78	104	59	70	11	118	79	90	11	1.7	0.1
国内線計	4,563	102	3,509	4,004	495	114	78	88	9		
(国際線)											
ANA	405	101	324	330	6	102	81	82	1	43.0	-0.8
JAL	340	104	281	292	12	104	86	86	0	38.0	0.1
SFJ	7			5				71		0.6	0.6
Peach	93	115	72	81	9	113	89	87	-2	10.5	0.8
Jetstar-J	21	83	21	19	-3	88	86	91	5	2.4	-0.5
Vanilla	32	80	35	27	-7	79	87	86	-1	3.5	-1.1
Spring-J	15	177	8	14	6	179	94	95	1	1.8	0.8
LCC4社	160	104	136	141	5	104	88	88	-0	18.3	0.0
国際線計	912	104	741	769	28	104	84	84	0		

2. 図表でみる GW の各社旅客実績

(国内線旅客シェア)

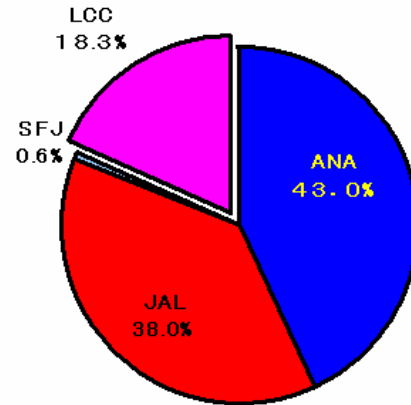
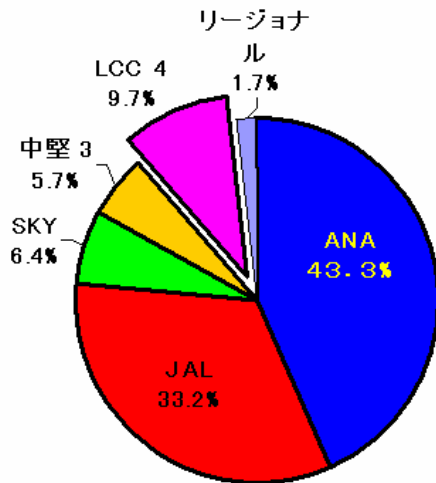
ANA43%、JAL33%

LCC に厚い 10%の壁

(国際線国内会社での旅客シェア)

ANA43%、JAL38%

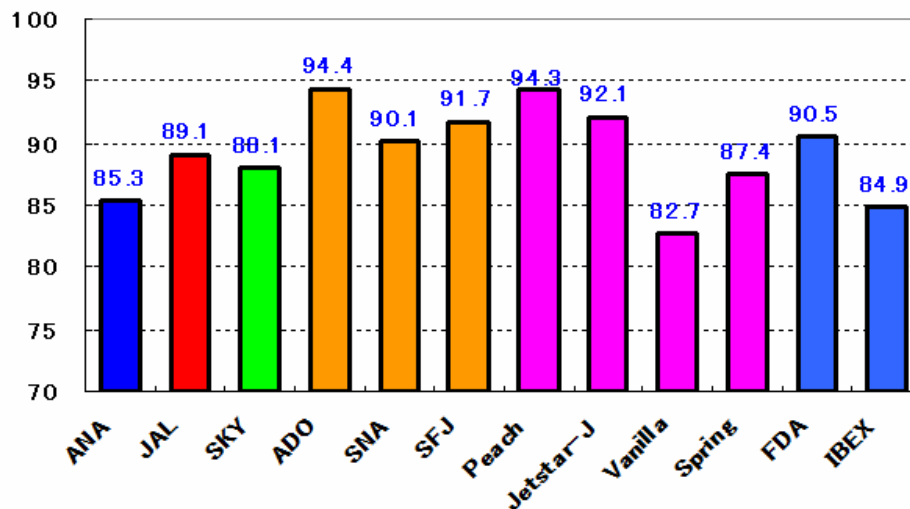
LCC18%のうち 14%が ANA 系
(Peach+Vanilla で 14%)



(各社の国内線搭乗率; %)

大手や中堅会社の搭乗率もほぼ LCC 並みのレベルを達成

Peach と統合が決まっている Vanilla は低調であった。



以上